

週報

第2680地区 南淡路ロータリークラブ

Weekly Report

2021～2022年度
南淡路ロータリークラブテーマ 「明日を創る」

2021～2022年度
国際ロータリーのテーマ



SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

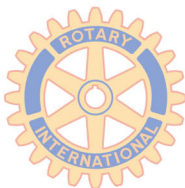
RI会長
シエカール・メータ

【例会場及び事務局】 兵庫県南あわじ市福良丙317 ホテル&リゾート南淡路 / TEL: 0799-53-1889 FAX: 0799-53-1889
【例会日】 毎週金曜日 / 12:30～13:30 会長: 鹿田 淑子 幹事: 坂東 顕郎 会報委員長: 野村 将司



会長幹事、無事引き継ぎました。

第2842回例会 2021年7月16日(金)



Vol.2 対外奉仕委員会事業計画発表

プログラム委員長/安部 則行

♪本日のソング 「それこそロータリー」

第2841回 REPORT

2021年7月9日

会員総数・・・31名 暫定出席率・・・80.7%
出席者・・・25名 前々回修正出席率・・・64.7%
欠席者・・・6名 例会運営委員長 村上雅信

会長の時間

会長 鹿田 淑子

この1年間、毎回「仕事」「育成」「こころ」「奉仕」等をテーマに進めてまいりたいと思っております。

本日はわが社を通し「仕事」についてお話し致します。

会社において、私は現実的にも心の上でも、常に重なり合うことに意識をおいております。

感覚的に近いものは和音、コード、響き、調和、等々……。

重なり合うことで心が化学反応を起こし、現実が化学反応を起こしていきます。

現実的に建築について、色の重なり、空間の重なり、基礎から材料も、全ての調和こそが1邸の家を創りあげます。見えない世界では、心と心が重なり合うことで、自分一人では気づくことができなかった様々な発見があります。

今日は、現実と心を重ねていく、私達の「連歌式」ミーティングの進め方についてお話しします。

皆さんご存じの方も少なくないと思いますが、連歌とは上の句(五、七、五)と下の句(七、七)を数人で交互に詠み連ね1つの歌にして行く日本の伝統的な詩歌の一つです。

それをミーティングに取り入れ、ミーティングの中では前の方が発言した内容を受け止めて、前の方の発言で自分が感じたことを喋った後に、自分の発言を重ねる。その次も、次の次も同様です。

ルールとしては、絶対に人の話に口を出さないことです。

バラバラに勝手に語り合うのではなく、前の方が土台となることより、他の人が語っていることに耳を傾けることが出来ます。

それぞれが繋がっていくことでチームワークが生まれてきます。

何よりも奥にある社員の気持ちがわかってきます。

それぞれの心が伝わり、お互いがシンクロするようになり、シンクロ率が上がっていくと、個々の発言の背景が見えて来ます。背景が見えると見えないとでは着手する優先順位に違いが生じ、それによる間違いが少なくなります。

如何でしょうか。皆さんも是非お試しください。



幹事報告

幹事 坂東 顕郎

○臨時理事会(7月2日初例会閉会后)

1. 7月度例会は当初のプログラム通りに開催します。

- 7/9 ガバナー補佐就任挨拶、事業計画発表
- 7/16 事業計画発表
- 7/23 例会取消(祝日・スポーツの日)
- 7/30 臨時総会

2. 現在わかっている年間計画

- ①60周年記念行事は社会状況の見通しが立たないので予定が立ちません。
- ②友好クラブ・尼崎南RCとの交流会も同様に予定が立たないので判断を会長に一任します。

○国際ロータリー日本事務局より

2021年7月のロータリーレートは、1ドル111円と連絡

○ガバナー事務局より

- ・規定審議委員会より御礼ならびに御報告
提案予定の2021年決議審議会(COR)への投票、全てご賛同いただいたこと、御報告し感謝申し上げます。
- ・7/10(土)会員維持増強セミナーの招待メール、資料、プログラム(再送)
- ・2022-2023年度派遣候補生規則 募集要項拝受

○ロータリー米山記念奨学会より(坂田前会長に)

特別寄付金をご送金いただきまして、誠にありがとうございました。

○週報拝受 洲本RC 淡路三原RC



ガバナー補佐就任のご挨拶

淡路グループガバナー補佐 瀧口 洋

皆さんこんにちは、本年度淡路グループのガバナー補佐を仰せつかりました三原RCの瀧口です。Covid-19のなか、ガバナー補佐として何ができるかわかりませんが少しでも皆さんのお役に立てればと思います。随員の岡田君ともども1年間お付き合いを宜しくお願いいたします。こちらのクラブは例会としては初訪問ですし初めての方もいらっしゃるようですので簡単に自己紹介をさせていただきます。生まれは和歌山県東牟婁郡古座川町で紀伊半島のやや南の山の中で生まれました。1953年生まれ、68歳です。平成元年に旧三原町で薬局を始めて今に至っております。早いもので淡路島も34年になり人生で一番多く過ごしております。



ロータリー歴は会長を1回、幹事を2004年と2017年の2回しました。最初の幹事の時に中国大連との交流、2回目の時にカンボジアとの交流事業を行い、ロータリーならではの貴重な体験をさせていただきました。それ以外は不勉強ですが、親睦活動に重点を置いて、ロータリーライフを楽しんでおります。

さてRI会長シェカール・メータさんはインドで4人目の会長です。テーマは「Serve to Change Lives」-奉仕をしよう!その人生をより豊かにするために-です。具体的には3つの方針を挙げておられます。

1番目は会員増強です。「Each one Bring one」を合言葉に会員一人一人が一人を入会させようというものです。島内の会員数もずいぶん減っております。ぜひ6月末には純増2名を目指してください。

2番目はロータリーの中核的価値観の中の多様性に重点を置き、特に「女性のエンパワーメント」に焦点を当てて活動に取り組むよう言われました。エンパワーメントとは社会的地位の向上、権利の拡大と言ったところでしょうか。こちらのクラブは鹿田さんが会長ということで誠に時宜を得ており、多様性の目線で取り組んでいただけたと思います。3番目は初めて「ロータリー奉仕デー」の実施が呼びかけられました。これには4つのハードルがあり、取っ付きにくい点もあると思いますがご検討をお願いします。4つのハードルの詳細はガバナー月信でご確認ください。

次に吉岡ガバナーの行動指針についてお話したいと思います。6項目の行動指針が出されましたが、詳細はこれもガバナー月信でご確認いただきたいと思います。ただガバナーもこのCovid-19の下では十分な親睦活動や奉仕活動もできにくだろうということで今年は「学びの年」にしたいと考えておられます。学びの資料としてGuy Gundakarの「ロータリー通解」や「大連宣言」、二宮尊徳公の「心の田畑を耕せ」ほか先輩ロータリアンの教えを参考にといわれております。最近では国際ロータリーと日本のロータリーの方向性が様々な面で違ってきております。活動の中心が奉仕プロジェクトか例会か、会員基盤においても多様なリーダーか職業人か、職業奉仕の位置づけについてもRIはプロジェクトの一つと考えておりますが日本は職業理念・職業倫理を重視しております。更に奉仕の主体も団体か個人かと大きく変わってきております。具体的には2017年のRI理事会で職業奉仕と青少年奉仕が社会奉仕に統合されましたが、今年度あえて両委員会を復活させ職業奉仕の推移や理念の理解等が盛り込まれました。またローターアクト委員会も独立させ若者の人材育成があげられました。淡路ローターアクトも会員減少で存続が危ぶまれている状態のようです。こちらにつきましても会員増強にご協力をお願いいたします。職業奉仕セミナーも行われるようですし、各委員会でもセミナーが増えると思います。オンラインも多くなるとは思います。積極的なご参加をお願いいたします。

ガバナー補佐の仕事は例年と変わらないようです。学びの場としてIMも2月に予定しております。ゴルフコンペも可能な限り開催するつもりです。会長幹事会も7月29日に第一回目を予定しております。最後に2021～2022年度年間目標として①会員増強 純増2名②My Rotary登録率75%③ロータリー財団年次基金1名あたり160ドル④ポリオ基金1名あたり40ドル⑤米山記念奨学会1名あたり17000円の5項目をお願いいたします。それから地区委員の要請も来ております6月にご案内させていただきましたように新たに「ロータリーカード推進小委員会」が設置されました。目的はロータリーカード活用によるポリオ絶滅寄付の推進、そしてできるだけ多くDDFを奉仕プロジェクトに活用したいというものです。「環境保護小委員会」はこれも初めてのようですが「環境保護の研究・プロジェクト」に取り組むことを目的としておりますが事業所でSDGsに取り組んでいるとか関心のある方のご参加をお願いいたします。「会員維持増強委員会」についても経験年数の新しい会員の勉強となるいい機会ですのでこちらもお願いたします。Covid-19のなか神戸まで出かけていただくのは非常に申し訳ない思いもごさいますが「ロータリーを勉強してみよう」とかご興味をごさいましたら宜しくお願いたします。

対内奉仕委員会事業計画発表

会場監督委員会(SAA) 村上雅信 委員長

○例会とは？

毎週必ずやってくる金曜の日に私たち南淡路RCのメンバーが食事を楽しみながら集える、唯一の時間であります。又、仲間と一週間に一度会える大事な時間です。

ロータリー活動を共にこなしてこそ、さらに友情が深まります。どうせやるなら、楽しい例会、元気のある例会をやるべきで、どのようにすればいいのかを考えていきます。

「例会に来れば、笑顔と思いやりがある」を目標にしたいと思っています。

今年一年、よろしく願いいたします。



プログラム委員会 安部則行 委員長

国際ロータリーの特別月間、地区行事、クラブ行事に沿ってのプログラムを作製し、会員卓話を中心に構成することで計画しています。会員皆様のご協力よろしくお願い致します。

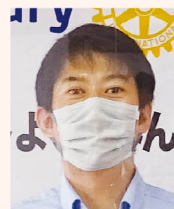


会報広報委員会 野村将司 委員長

会報は週報とします。

前年度の意思を継ぎ、会報のPDF化に取り組んでまいります。

『明るく見やすい会報』としていきますので、プログラム委員の方や皆様、ご協力のほどよろしくお願い致します。



親睦委員会 片岡永幸 委員長

ロータリークラブを楽しいと感じ、会員同士の親睦と友情が深まるような活動を行っていきたくて考えております。会員の皆様には積極的な参加をお願い致します。

○月初めの例会に、誕生月、結婚月を迎えた会員にささやかなお祝いをする。

○家族の皆様を交えてBBQ大会、クリスマス会、親睦旅行を実施。

○新年初例会には新年会、最終例会の親睦会の開催。

以上、本年度の活動を計画しておりますが、コロナの影響もあると思います。会員各位のご理解とご協力をお願い致します。



会員増強委員会 南岳利英 委員長

今年度の会員増強委員会は、私(南岳利英)を会長に、村上雅信会員、西畠泰司会員、豊嶋賢之会員の4名で構成いたします。

昨年末に3名の会員が退会され、現在当クラブは総数31名となっておりますが、これまでの増強委員の活動を引継ぎ、増強に努めていきたいと思っております。

【年度方針】

○家族集会で候補者をピックアップし・担当を決め具体的に折衝にあたる。

○退会者が出ないように、会員各位が心配りする。

○退会会員、OB会員の2世など、候補対象者を幅広く考える。

ここ数年来、若い年齢層の会員入会が続いておりますが、出席率が低いのが難点であります。仕事の関係上、昼間の例会だと参加の気持ちがあっても参加できない新会員もおります。こういった状況をカバーしていくことは、クラブ運営を強固にしていく(増強)ことであります。理事会でイーブニング例会を提案していきたいと存じます。



ニコニコ箱

瀧口ガバナー補佐：ご挨拶。

鹿田会長：瀧口ガバナー補佐ようこそ。

全会員：瀧口ガバナー補佐はお迎えして。

榎本雅会員：南岳様、昨日ありがとう。

村上会員：先週欠席でした。たいへんすみません。